

アメリカ・ポートランド クラフトビール再沸騰中！ + ウィラメットバレーのワイン

Craft Beer in Portland, Oregon 2014 + Wine in Willamette Valley



- アメリカ・オレゴン州のポートランドはクラフトビールのメッカとして知られ、「Beervana」や「Beertown」という愛称でも呼ばれるクラフトブルワリー密集地。1980年代からクラフトビール産業の基礎を支えてきたといっても過言ではないが、2000年代には産業全体の低迷を受けてブルワリーの再編が進んだ。
- しかし、2010年代に入り息を吹き返し、いまクラフトビールが再沸騰中！



- ダウンタウンのスーパーでも地元のクラフトビールがずらりと並べられ壮観。
- ほぼガラスびんだが、一部アルミ缶も出てきている。



■ パシフィックノースウェストと呼ばれる太平洋北西岸エリアを代表する都市の一つであるポートランドは、環境保護への取り組みでは全米随一といわれ、国内の住みたい街ランキングでは必ず上位にランキング。ダウンタウン中心部には街並みにマッチした醸造所やブルーパブがいたるところに。

■ ちなみに、オレゴン州は人口当たりのクラフトブルワリー数では全米二位(2012年BA統計)。27000人に対して1ヶ所、州内に実に140ヶ所あります。そして、ポートランド市内だけでなんと53ヶ所！



■ ポートランドを代表する**Bridgeport Brewing**。1984年創業で、今年30周年を迎える「老舗」。アメリカクラフトビール界で知らない人がいない著名醸造所で、醸造所に隣接するブルーパブと合わせてポートランド市内観光スポットの一つ。

■ 好調な販売を受けて現在週20バッチ(10kl仕込!)とのこと。ブルーハウスから充填ラインまで、とにかく忙しそう。



■ (上) 年季の入った80バレル仕込設備

■ (左) ホップはホールホップを贅沢に使用。ワールプールの脇には大きなホップバックが。ホップ浸し作業初体験の図。



■ こちらはオレゴンを代表するクラフトブルワリー、**Deschutes Brewing**がポートランド市内に出したブルーパブ。Bendという小さな地方都市が本拠地ながら、いつの間にか全米5位に入る巨大クラフトブルワリーに成長!

■ 狭い室内に2.5kl仕込システムがぎっちりながら、設備にはお金がかかっている感。平日昼間からパブレストランは人が一杯。年220klの製造規模だが年々増えているとのこと。

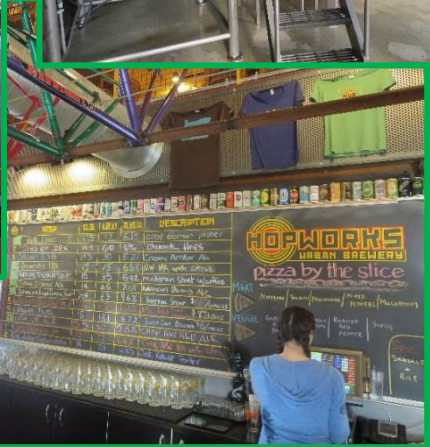
■ ちなみに、両醸造所があるのはダウンタウン北西エリアにある昔の倉庫街が再開発でオシャレに生まれ変わったPearl地区。ナイスロケーション。



■ ダウンタウンを貫くウィラメット川の東岸は西岸と比べるとより庶民的なエリア。小規模で個性的なブルーパブの宝庫！



■ 左上から時計回りに、
Cascade Brewing Barrel House
Lucky Labrador Brewpub
Alameda Brewing
Hop Works Urban Brewery
 Thanks and cheers!



おまけ
ウィラメットヴァレー
のワイナリー訪問



■ ポートランドから車で小一時間南に走ると、あたりは一面ブドウとヘーゼルナッツが栽培される丘陵地帯に。ウィラメットヴァレーと呼ばれるこの一帯は、カリフォルニアの次に有名なアメリカのワイン産地。なんととってもピノノワールが注目で、カリフォルニアのピノとは一線を画し、世界的にも評価が高い。

■ クラフトビールだけでなくワインも現在絶好調のようで、大手ワイナリーの進出や、アメリカンドリームを夢見て小規模ワイナリーを開く人が急増中とのこと。

■ ワインツーリズムが根付いていて各ワイナリーの外観やレセプションエリアはかなりきれい。また共通する有料テイスティングシステムを導入していて、いかにもアメリカ的。しかし、乾燥地+灌漑のワイン産地とは異なり、緑豊かで風光明媚なこの地域は、今後ますますツーリストに人気が出そう。

